

研究課題名	肺癌細胞のEGFR変異活性に及ぼすCAFの影響の解析とEGFR阻害剤耐性の制御
研究の意義・目的	EGFR変異型肺癌細胞のEGFR tyrosine kinase 活性に対する癌関連線維芽細胞（CAF）の影響を明らかにすることおよび、EGFR 活性に影響する癌関連線維芽細胞由来分子を制御することによりEGFR阻害剤耐性を克服することを目的とする。
研究を行う期間	公開データベースにおける公表日～2025年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2015年4月～2025年3月までに大阪市立大学医学部附属病院の呼吸器内科・呼吸器外科で、肺癌の診断・治療のため受診され、当院で肺癌手術を受けられた、またはこれから肺癌手術を受けられる方であり、初回手術時の年齢が20歳以上の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>過去にご協力いただいた研究（研究課題名：呼吸器腫瘍の増殖進展における遺伝子異常の解析、承認番号：2019-006）でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>試料：【癌関連線維芽細胞、正常肺関連線維芽細胞】</p> <p>ご提供頂いた細胞が肺癌細胞株の増殖能、遊走能、浸潤能、EGFR tyrosine kinase 活性化、EGFR 阻害薬耐性にどのように影響するかを確認します。またご提供頂いた細胞がどのようなサイトカインを分泌しているかを測定します。</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院呼吸器内科のみで行い、他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院呼吸器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 研究責任者 川口 知哉
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学</p> <p>（担当者氏名）長嶺 宏明</p> <p>電話番号：(06) 6645-2121</p>